

学びの広場

各種施設での事業（その9）

今回は「町屋地域集会所施設」で行われている事業の様子を、町屋自治会長の遠藤裕夫さんに伺いました。



お話を伺った遠藤さん

平成23年度に移転した町屋地域集会所施設

町屋地域集会所施設は、平成23年に現在の場所に移転してきました。名誉町民の永山榮一氏から町に寄贈された建物（旧かつば亭）を改装したものです。ここからのロケーションはすばらしく、富士山をはじめ、箱根の山々、酒匂川を一望のもとに見渡せます。



地域活動の拠点 町屋地域集会所施設

内容を新した自治会の桜まつり

町屋自治会で行われる桜まつりは、今年から内容を一新しました。従来の「花見の会」では、参加者が固定的になっていたのですが、第一部はコンサート（地域にお住まいの方々によるバイオリン、ギター、フルート、アコーディオンの演奏など）、第二部は花見の会としました。今年は、天候には恵まれませんでしたが、いつもより大勢の方が参加してくれました。

寒田神社の例大祭 子ども神輿は小学生全員で

7月31日の祭礼では、この集会所施設が寒田神社からの神輿を迎えるお旅所になります。当日までに



みんなで手綱を引く子ども神輿

地域のお茶の間 町屋ふれあいの会

原則として、毎月10日に開催する「地域のお茶の間」です。おしゃべり、カラオケ、町職員による出前講座、そば打ちの見学と会食、音楽鑑賞など、月によって内容はいろいろです。今年度から委員が分担し、月ごとに輪番制で計画、運営するように変更しました。内容が多彩になることが期待されています。



おいしいおそばの会食

全員皆出席の筋トレ教室

筋トレ教室は、5月から始まりました。会員はまだ9人しかいませんが、先生のユーモアのある熱心な指導のもと、みんながんばっ



大人から子どもへ山王社祭を伝えます

て健康づくりに励んでいます。今のところ、全員皆出席です。

その他の行事

その他に、地域集会所施設では、いろいろな行事が展開されます。東日本大震災復興支援のためのバザー、山王社祭、総合防災訓練、さらさら町屋（イルミネーション）などなど。



支援の気持ちが集まったバザー

しかし、まだまだ十分に利用されていないとは言えない状況なので、さらに呼び掛けをし、地域の活性化の拠点になればと考えています。

古文書を読む講座を開催しました

教育委員会の新しい事業として、5月12日から6月9日までの日曜日に、5回連続で「古文書を読む講座」を開催しました。申し込みが多く、定員15人のところを20人まで増やしましたが、数人の方はやむなくお断りせざるをえませんでした。そのためか、参加者は熱心に受講し、5回皆出席者は9人で、全員が3回以上の受講をしています。当日の教材は、鬼平犯科帳でおなじみの火附盗賊改方、長谷川平蔵に関する古文書で、興味



18歳から88歳まで幅広い年代の参加者が熱心に学習しました

深く学習できました。最終日には、講師を務めていただいた、國學院大学の高澤憲治（のりはる）先生に、参加者からお礼の気持ちを込めて、手作りの梅酒などがプレゼントされるという心温まる出来事もありました。

五輪塔・宝篋印塔（最終回）

五輪塔は本来、宇宙の構成要素（五大）を表す方形、円形、三角形、半月形、宝珠形を五段に積んだ仏塔であり、宝篋印塔は宝篋印陀羅尼というお経を塔中に収めたやはり多層の仏塔です。

松田の文化財探訪 「歴史的石造物」その12（最終回） 町文化財保護委員 平賀康雄



大蔵院敷地内の五輪塔

豪族、波多野氏の領地となっていました。源頼朝の旗揚げの際、松田郷在住の波多野義常は挙兵の依頼に応ぜず、その責めを受け、松田郷で自害したということです。これらの五輪塔はその波多野氏のものとも言われ、またはその波多野氏から分かれた松田氏一族に関係のある墓石であるとの説もあります。おしなべて五輪塔、宝篋印塔ともに全町にわたり道脇やお堂の脇または各所の道祖神脇に複数並んで残っています。ただし、道祖神脇にあるものは、別の場所にあるものが道路工事の際などに祀られたものと思われま

す。終わりに、町内にはこれまで取り上げた以外まだまだ多くの種類の石造物がありますが、代表的なもののみ掲載ということでご理解を願います。今回このシリーズを終了させていただきます。ありがとうございました。

後に主に武將ら、位の高い人物の供養塔、墓碑塔としてとりわけ戦国時代以降に多く建立されました。寄地区を含む町内に多数散在していますが、特に庶子の大蔵院敷地内の20数基の五輪塔群と旧立花愛児園脇の70基程の五輪塔群は際立っています。平安時代末期あたり、松田の地は相模の西部一帯を支配する